

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉中学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☒ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☐ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ()

所在地 〒248-0005
神奈川県鎌倉市雪ノ下 3-5-10

E-mail kamachu@ynu.ac.jp

Website http://www.kamajhs.ynu.ac.jp/

児童生徒数 男子 258 名 女子 252 名 合計 510 名
 児童・生徒の年齢 12 歳～15 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☐ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☒ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☐ 防災
- ☐ 食育
- ☒ 伝統文化
- ☒ そのほか (歴史・地域理解)

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

① 科学部の活動【環境・生物多様性・歴史・地域理解】

鎌倉の海岸（由比ヶ浜・材木座海岸）で年2回ビーチコーミング（漂着物調査）を行った。そのうち1回（9月実施）では、隣接する附属小学校および、地域の小・中学校の児童・生徒に参加を呼びかけ、合同で実施した。

採集した漂着物を、「生物・自然」「文化・歴史」「環境」の3つの観点から分類し、研究を進めた。また、横浜市立の高校や大学と合同で、神奈川県（真鶴）、千葉県（沖ノ島）で校外学習を行い、生物や植生、地形等の調査を行った。これらの研究・調査を通して、鎌倉の地域特性についてまとめ、発表した。

② 帰国生の活動【国際理解・伝統文化・地域理解】

本校に在籍する約40名の帰国生が、「鎌倉に観光に訪れた外国の方へのインタビュー」や「日本文化の体験活動（茶道・寺社めぐり）」などの活動を通して、海外から見た鎌倉の特徴や魅力について学習した。また、「海外生活体験発表会」を行い、帰国生一人ひとりが、自分の滞在していた国の文化や生活体験について発表した。

③ 総合的な学習の時間【地域理解】

人との交流を中心にした実践的・体験的な学習活動を通して、情報活用やコミュニケーションに関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、社会や職業と自己とのかかわりについて理解を深め、自己の将来にかかわる問題を主体的に解決する能力と態度を育む目的で学習を行った。

・「インタビュー学習」（1年生）

地域の方をはじめとする様々な人との出会いや学びの中で、社会をたくましく生きる人について考える。

・「職場体験活動」（2年生）

職業学習を通して、自分が現在の社会で生きていく上で必要な力について考える。

・「自主研究」（3年生）

個人で探究するテーマを設定し、修学旅行や進路学習等を通して、今後の自分の生き方について考える。

上記①～③の活動成果を、校内発表会や校内常設展示、ユネスコ協会の活動報告会等を通して、全校生徒や保護者、地域の方に向けて発信した。また、今後の活動として、さらに隣接する附属小学校との連携を深めていく予定である。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ☐ ユネスコクラブの活動として実施
- ☐ その他（

）